

『研究に役立つ JASPIによる多変量解析』 第1刷(正誤表)

このたびは本書をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本書には下記のような誤りがありました。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

頁	箇所	誤	正
6	2, 3行目	B店	5月
12	図1.5一番下	帰無仮説を採択する	帰無仮説を受容する
49	表4.3	甘え上手である	計算高い
75	下1行目	クラスター数を増やした	クラスター数を減らした
108	図9.13	学習意欲低群の単純傾斜分析の結果	学習意欲高群の単純傾斜分析の結果
	図9.14	学習意欲高群の単純傾斜分析の結果	学習意欲低群の単純傾斜分析の結果
	3行目	0.536	1.255
109	図9.15		欄外
	図9.16		欄外
124	1行目	551	751
135	4行目	切片	傾き
142	4行目	$-\log n_{\bullet\bullet} = \mu, \log n_{i\bullet} = \alpha_i, \log n_{\bullet j} = \beta_j$	$\log n_{\bullet\bullet} = \mu, \log n_{i\bullet} - \mu = \alpha_i, \log n_{\bullet j} - \mu = \beta_j$

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。
 下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。
<https://www.coronasha.co.jp>

①

	A	B	C	D
			anxiety	anxiety
			-1SD	+1SD
4	学習意欲高群 切片 - 偏回帰係数		motivation+1SD	26.987
5			motivation-1SD	22.510
6				22.402

図 9.15 折れ線グラフの作成 (Excel への入力)

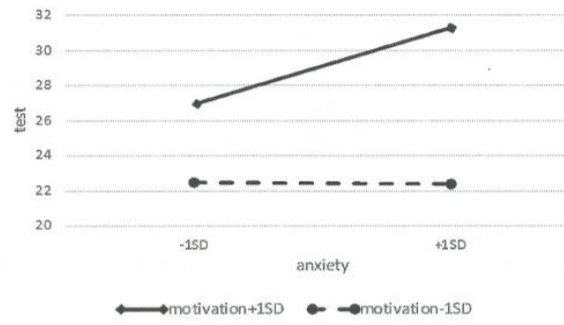


図 9.16 単純傾斜分析の結果の図示